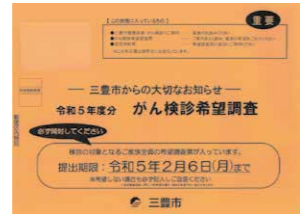


健康

がん検診の希望調査を行います

▶問い合わせ 健康課 ☎ 73-3014

※国民健康保険加入者で、国保人間ドックを希望する人は、希望調査票は未記入で提出してください。
(人間ドックの案内は、3月下旬に送付します)
ただし、みとよ市民病院を希望する女性は、子宮頸がん・乳がん検診の欄のみご記入ください。
※世帯全員が国保人間ドックを希望する場合は、希望調査票を提出する必要はありません。



▲オレンジ色の封筒で郵送します

令和5年度三豊市がん検診希望調査票を、1月中旬頃、対象となる世帯にお送りします。
家族で確認し、希望する検診にチェックして、同封の返信用封筒に入れて郵送するか、健康課または各支所へご持参ください。希望しない場合は、「希望しない」にチェックして返信してください。

健康

後期高齢者医療制度に係る医療費通知を発行します

▶問い合わせ 県後期高齢者医療広域連合 ☎ 087-811-1866 / 健康課 ☎ 73-3014

令和4年度の後期高齢者医療制度に係る医療費通知(医療費のお知らせ)は、1月末発行予定です。
通知の目的
健康に対する理解を深めてもらうため、医療費通知には医療機関名や通院日数、自己負担相当額などが記載されています。
重複受診の抑制など、医療保険の健全な運営を図ることを目的として、年に1回発行しています。
医療費通知を利用する際の注意点
確定申告の際、「医療費通知」の自己負担相当額(被保険者自身が支払った医療費)を、医療費控除の資料として利用できます。
ただし、本来の通知目的とは異なる利用であるため、申告に必要な内容が全て記載されているわけではありません。医療費通知(1月末発行予定)と合わせて領収書を保管してください。特に令和4年11・12月診療分および保険対象外の診療分などは、記載がないため領収書が必要です。
※医療費通知の再発行はできませんので大切に保管してください。



暮らし

国民年金のお知らせ

▶問い合わせ 善通寺年金事務所 ☎ 0877-62-1662
市民課 ☎ 73-3005

20歳になったら国民年金に加入を
国民年金は20歳から60歳までの人が加入し、保険料を納める制度です。国民年金は、次のような種類があります。
老齢年金：年を取ったとき
障害年金：病気などで障がいが残ったとき
遺族年金：家族の働き手がなくなったとき
厚生年金や共済組合に加入していない人が20歳になったときは、日本年金機構からお知らせが届きます。必要な手続きを行わず、保険料を未納のまま放置すると、年金が受け取れなくなる場合があります。
学生納付特例制度とは
20歳以上の人は、学生であっても国民年金に加入し、保険料を納めなければならない。しかし、本人の所得が一定額以下の場合、保険料の納付が猶予されます。
対象者
学校教育法に規定する大学(大学院)、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校および各種学校(修業年限1年以上である課程)に在学する人
申請の手続き
次のものを持って、市民課、各支所または年金事務所まで手続きをしてください。
・基礎年金番号の分かるもの、またはマイナンバーカードなど本人確認できるもの
・学生証のコピー(有効期限が表記されているもの)または在学証明書(原本)



年金事務所からのお知らせ
年金請求手続きや年金相談を年金事務所で行う人は、スムーズに手続きを進めるため事前に予約をお願いします。予約の際には、基礎年金番号が分かるものを手元に準備してご連絡ください。
予約受付専用電話
☎ 0570(05)4890
開所日時
月曜：午前8時30分～午後6時
火～金曜：午前8時30分～午後4時
第2土曜：午前9時30分～午後3時
※月曜日が祝日の場合、翌日以降の開所日初日が、午前8時30分～午後6時になります。
問い合わせ
善通寺年金事務所お客様相談室
☎ 0877(62)1662(音声案内①②)
社会保険労務士による無料年金相談(要予約)
日時・場所
1月11日(水) 危機管理センター
1月20日(金) マリンウェブ
午前10時～午後3時
持ち物
・基礎年金番号の分かるもの
・マイナンバーカードなど相談者本人確認ができるもの
・代理人の場合は、委任状および代理人本人であることを確認できるもの
問い合わせ
街角の年金相談センター(高松(オフィス))
☎ 087(811)6020

生産者と購買者をつなげる「やさいバス香川」運行開始

11/14 わノクニファーム(三野町)

生産者と購買者をつなぐ共同配送システム「やさいバス香川」の出発式が行われました。やさいバスは、農作物の集荷拠点や小売・飲食店などを「バス停」に見立てて、「時刻表」に合わせて巡回するトラックです。この取り組みによって、生産者が収穫した農作物を購買者へ最短で届ける、双方にメリットがある新しい流通システムの展開が期待されます。



スーパーマーケットの一角に登場した「やさいバス香川」のコーナー▶



▲県内で初めて運行される「やさいバス香川」を見送る山下市長

三豊ブランド「みとよのみ」第1回認定式

11/25 危機管理センター

第1回「みとよのみ」認定式が行われました。「みとよのみ」プロジェクトは、市産の魅力的な農林水産物を地域ブランドとして6次産業化*を進め、地域産品開発や販路拡大に取り組むプロジェクトです。

第1回認定式では、6事業者18商品を「みとよのみ」ブランドとして認定しました。市産の野菜を使ったパエリアセットやスーパーフードのモリンガパウダーなど、農水産物を生かした商品が並びました。



▲みとよのみ®認定ロゴマーク



▲広報12月号の特集記事はこちらから



▲商品や取り組みについての詳細はこちらから



▲認定式に出席した事業者の皆さん

*6次産業化とは…1次産業の農林漁業と2次産業の製造業、3次産業の小売業までを一体的に取り組むこと